

ASEAN からのメッセージ

コロナ禍で今年の「日本語スピーチ・コンテスト優秀者招へい事業」は中止を余儀なくされた。そこで、これまで日外協の招へいで来日した ASEAN の青年たちに近況を寄せてもらった。

様々な困難に直面しながらも明るく奮闘している様子が伝わってくる。

フィリピンから

ゾーイ・アガサ・セラノさん (2019年)

※()は来日年、以下同(出身国以外に滞在中の場合は出身国も)

今年の4月に国費留学生として日本に行く予定だったので、3月に仕事を辞めて、住んでいたアパートからも退去。ところが、コロナの影響でまだ出発できていません。無職のまま両親の家に住んでいます。東京外国語大学の研究生として全ての授業に遠隔で参加しています。フルタイムの仕事はできないし、日本に行くまで奨学金はもらえません。そこで、オンラインで翻訳の仕事と日本語講座を開いています。将来、研究者になるため、来年4月からの博士前期課程への合格を目指しています。ICTの発達と、それに伴う学習者の変化に合わせた新しい学習方法・学習ツールはどんなかたちであるべきかについて研究したいと思います(10月末に無事来日)。



パワラン島

レイ・リムさん (2009年)



マニラにいます。外出時はマスクやフェースシールドを着用しなければならないので息が苦しいです。外出してレストランで食事をしたいのですが、感染が収まってないのでまだ怖いです。デ・ラサール大学で経済学を教えています。オンライン授業で1クラス40人くらいです。

また、日本に行きたいです。

インドネシアから

セリ・イナヤンティさん (2018年)

中部ジャワのクドゥスという小さな町に住んでいます。大学4年生になり卒業論文を書いています。本当は今年の9月に日本に留学するはずだったので、コロナのせいで出発できていません。日本の文部科学省は10月中にはと言っていたので



クドゥ斯塔モスク

すが、まだ分かりません(11月に無事来日)。

将来はいろいろしたいことがあります。まず、学士号を取得して、できたら日本の大学院に進学するつもりです。

アルベルトさん (2017年)

スラバヤに住んでいます。私は日系製薬会社に就職し、改善推進を担当しています。



コロナで変わったこと。例えば、年に1回地元に戻り両親や親戚と会ったりすることができていたのに、今はビデオ通話でしか顔を見ることができません。

ワクチンが開発されコロナが収まったら、また日本の本社に研修に行ったり、日本の観光地を巡ったり、日本人の友達と会ったりしたいと思います。

リンダ・アリア・ウィダヤンティさん (2015年)

バンドンにいます。普段やっていたことがやれなくなったり、友達と直接会えなくなったりして少し残念です。家で過ごすことが多いので、日本語能力試験1級を取るために勉強しています。

日本語会話サークルを立ち上げようと思っています。コロナで大学や学校へ行けなくなり、友達と話すチャンスがない学生が増えているので、このコミュニティで少しでも役に立てると嬉しいです。

日本の文部科学省奨学金に研究生として申し込んだところ、第一次選考試験に合格しました。次の面接試験に合格したら留学することができます。面接は慣れていないのでとても緊張していますが、頑張ります。将来はインドネシアで

日本語教育関係の仕事がしたいです。コロナがあっても日本語の勉強を続けます。夢を諦めません。

カンボジアから

ポーン・ウィメンボパーさん (2019年)

プノンペンに住んでいます。コロナで4月から7月まで大学の授業はオンラインでした。大変だったけど、卒業できました。今、日本語の先生としてオンラインで教えています。



将来は裁判官の試験を受けるため、家で独学しながら準備をしています。



プノンペン市内

トップ・ワンナーさん (2018年)

プノンペンで日本語学校の教師をしています。コロナのせいで授業が減って減給され、かなり困っています。



来年になったら日本の大学院に留学したいと思います。ビジネスを勉強して日本で2~3年働いてから帰国し、カンボジアにある日本企業に勤めたいです。

エム・ウサーさん (2015年)

世界遺産のアンコールワットにあるシェムリアップ県に住んでいます。旅行会社で観光旅行の手配やガイドのアシスタントの仕事をしていましたが、コロナで仕事がなくな



ってしまい今はファストフードを売っています。将来はファストフードの大きいお店をやりたいです。

ヴァン・チョムランさん (2014年)

シェムリアップにいます。日本語ガイドをしています。仕事がなくなり生活はちょっと大変です。両親の仕事を手伝いながら、新しい仕事を探しているところです。



将来、したいことはたくさんありますが、とりあえず、仕事が見つかったら何よりだと思います。チャンスがあれば、また日本へ行きたいです。

ラオスから

キンカーンダー・スリニャさん (2019年)

ビエンチャンに住んでいます。授業がオンラインになりました。結婚式で写真を撮るアルバイトをやっていました。コロナの影響でできなくなったので、短いアニメーションや絵



を描くフリーランスをやっています。

10月から普通の授業に戻りました。大学を卒業したら奨学金を見つけ、日本で2Dアニメーションについて勉強したいと思っています。



ランサーン通り (右は母校ビエンチャン高校)

ラッタソン・ポンマボンさん (2017年)

ビエンチャンにいます。実は4月から日本に留学する予定だったのが延期になってしまいました



た。日本では国際旅行マネジメントのコースを英語と日本語の両方で勉強するつもりです。卒業したら数年間は帰国せずに日本で働きたいと考えています (10月に無事来日)。



メコン河畔の夜の市場 (ビエンチャン)

ブルネイから

チュン・ミン・フィさん (2015年)

今年の4月から日本に留学する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期に(10月未来日)。現在は筑波大学の研究生として、SNS

特集 それでも前へ — ASEAN と日本をつなぐ

とウェブデータの分析でブルネイの社会経済の問題について研究しています。来年、無事入試に合格できれば、筑波大学のシステム情報工学研究群の正規学生になります。



日本の人たちにブルネイや ASEAN のことをもっと深く理解してもらうため、大学を卒業したら日本で働きたいと思います。



国王即位 50 周年 (2017 年) 記念 タマン・マコタ・ジュビリー・エマス公園

チョン・ツエ・リャン(ボビー・チョン)さん (2007 年)

日外協のプログラムで日本に行ったのは 10 年以上前、当時まだ学生でした。懐かしいです。



コロナは収まっていて、海外渡航の制限を別にすれば、ここでの生活はほぼ正常に戻っています。今では以前と同じように仕事にも行けるし、買い物や食事にも出かけることができます。ただ、健康追跡アプリを身に付けなければなりません。

大学卒業後、高校の英語の教師になりました。生徒たちの大学進学を指導しています。同時に、学校ではキャリアガイダンスカウンセラーもしていて、生徒たちには可能な限り日本に留学するよう勧めています。仕事は楽しく、

生徒たちが成長するのを手伝えることにとても満足しています。高校教師として将来もこの仕事を続けていきます。

シンガポールから

リム・ウィー・シアンさん (2019 年)

新型コロナ検査官の仕事をしていて、とても忙しかったです。



将来は臨床研究、またはメディカルアフェアーズ(注: 製薬会社で新薬の開発から市販後までトータルでコーディネートする業務)に携わろうと思っています。



フスナ・ハイロンさん (2018 年)

コロナの影響で 1 月から始めた仕事を 3 月に解雇されました。



7 月から Amazon で働いています。それまでの 3 カ月間なかなか仕事が見つからず、辛くて貧乏で死ぬかと思



いましたがもう大丈夫。諦めなくて良かったです。今、働きながら学校に通い夜の授業を受けています。将来の夢は日本のアニメの声優。今でも変わっていません。オーディオエンジニアリングも勉強しています。

日本が恋しいです! では、また!!

ベトナムから

グエン・チャン・ミーさん (2019年)

首都ハノイに住んでいます。3年生の後期は大学には行かずオンライン授業を受けました。また、全国規模の社会隔離が始まってからずっと家を離れることができませんでした。9月から感染が収束して普通の生活が帰ってきました。大学にも戻り最後の学年を始めたところです。大学を卒業したら、日系企業で働きたいです。



実家のあるランソン市の夜景

ミャンマーから

ティン・ナグダー・リンさん (2019年)

ヤンゴンにある児童養護施設で暮らしています。感染者が増えているので、ずっとステイホームの生活で施設から外に出ることができません。そのため、好きな食べ物も前のように食べるすることができません。授業もオンラインに切り替わりました。



今、日本留学試験に向け勉強しています。日本に留学してITの技術を学び、将来それを持ち帰ってミャンマーの発展に貢献したいと考えています。この夢をかなえるため、毎日頑張っ

て勉強しています。

マレーシアから

ヨー・シー・ファイさん (2018年)

コロナの影響で、大学の授業はオンラインで受けることになりました。最後の1年なのに友達と過ごすことができず、少し不自由さを感じています。



将来は心理学に関わる仕事につきたいです。資格を取るために修士の学位が必要なので、大学を卒業したら大学院に進学したいと思っています。



自宅の近所に虹が

タイから

スラサク・ウィトゥーンさん (2008年)

ウボンラチャタニ大学で英語の先生をしています。100%オンラインだった授業は、今は通常に戻っています。



将来は、自分自身で統合農園 (integrated farming) をやって土づくりから栽培、収穫まで自給自足で環境にやさしい安全・安心な食品を



シリンドン・ダム 乾季は放牧が行われる

作りたいです。お店へ買いに行かなくてもすむのでコロナが来たって大丈夫。

日本にいます

クインシアン・マリ・タンポさん (出身国: フィリピン、2017年)

実は8月に帰国する予定だったのですが、コロナでフライトがキャンセルになり、そのままずっと東京にいます。お客様のオフィスでR&Dエンジニアの仕事をしています。



ジョイス・ハヤシンスさん (出身国: フィリピン、2016年)

東京でIT企業のプロジェクトコーディネーターの仕事をしています。3月からはテレワークになり、人との交流が不足したり、職場でのチームワークに支障が生じたりと困難もあります。でも、私なりにベストを尽くして、モチベーションを保ち、オンラインツールを活用して同僚とコミュニケーションをとるよう心がけています。これからも微力ですが、日本でグローバル化のお手伝いできればと考えています。



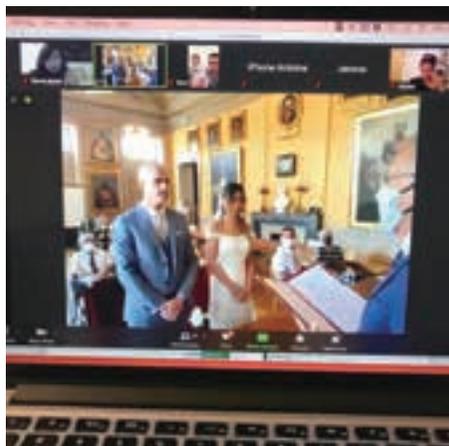
フランスから

ヨウニコ・ジェシカさん (出身国: インドネシア、2012年)

4月からパリに住んでいます。2月にフランス人の婚約者がインドネシアから帰国することになり、一緒に移住することを決めました。彼が先に出発し、私は会社を退職し4月に行く予定にしていました。仕事の引き継ぎをしている間に、フランスでは世界でも厳しい外出制限が出されました。私はフランスに行けるか不安になり出発を1週間早め、無事入国することができました。そうしたら何とその3日後にフランス政府は海外からの入国制限を始めました。もし出発日を変えていなかったら、今でも彼とは会えていなかったでしょう。



外出制限が終わって8月1日に結婚式をしました。彼の実家で行い、市庁舎での式に出る客数は28人に制限される中で無事に終わることができました。インドネシアから家族を呼ぶことはできませんでしたが、Zoomで生放送しました。



ジャカルタでは高級時計のマーケティングをやっていました。将来はフランスの南の海辺に住んで、自分でビジネスをやりたいです!